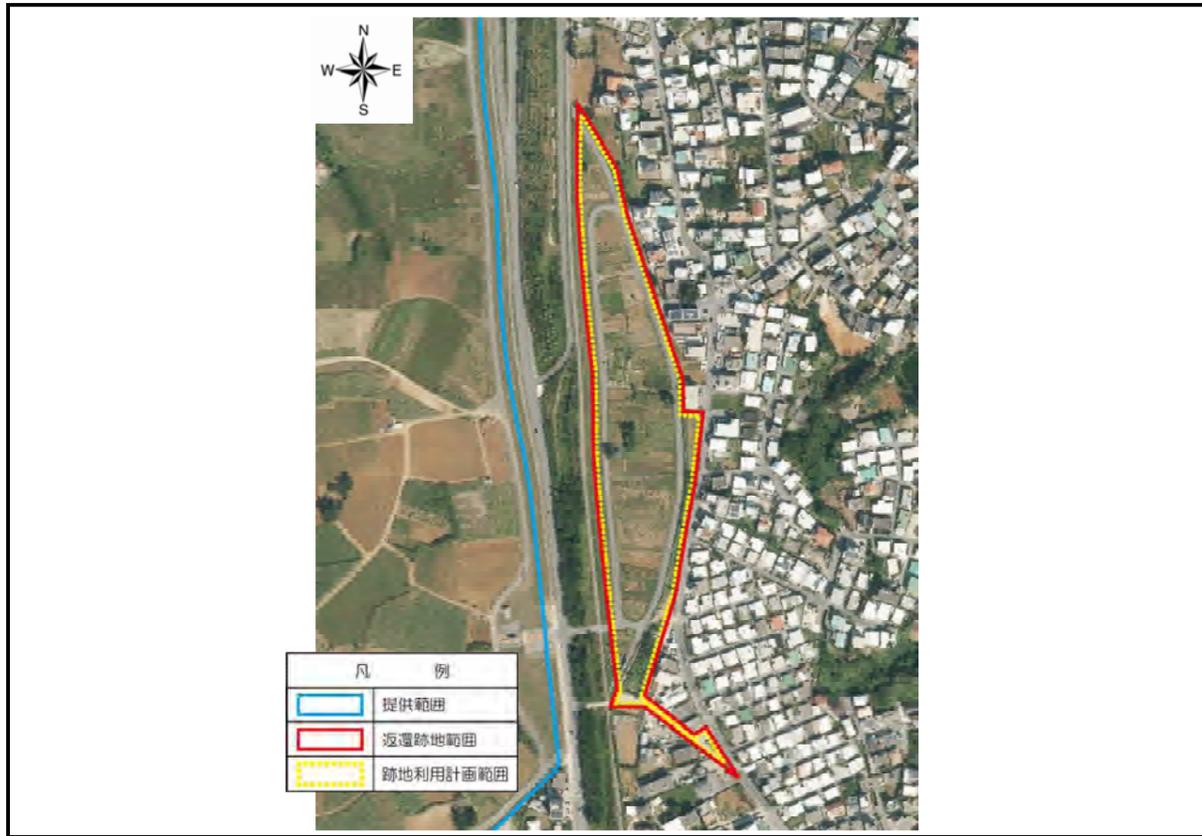
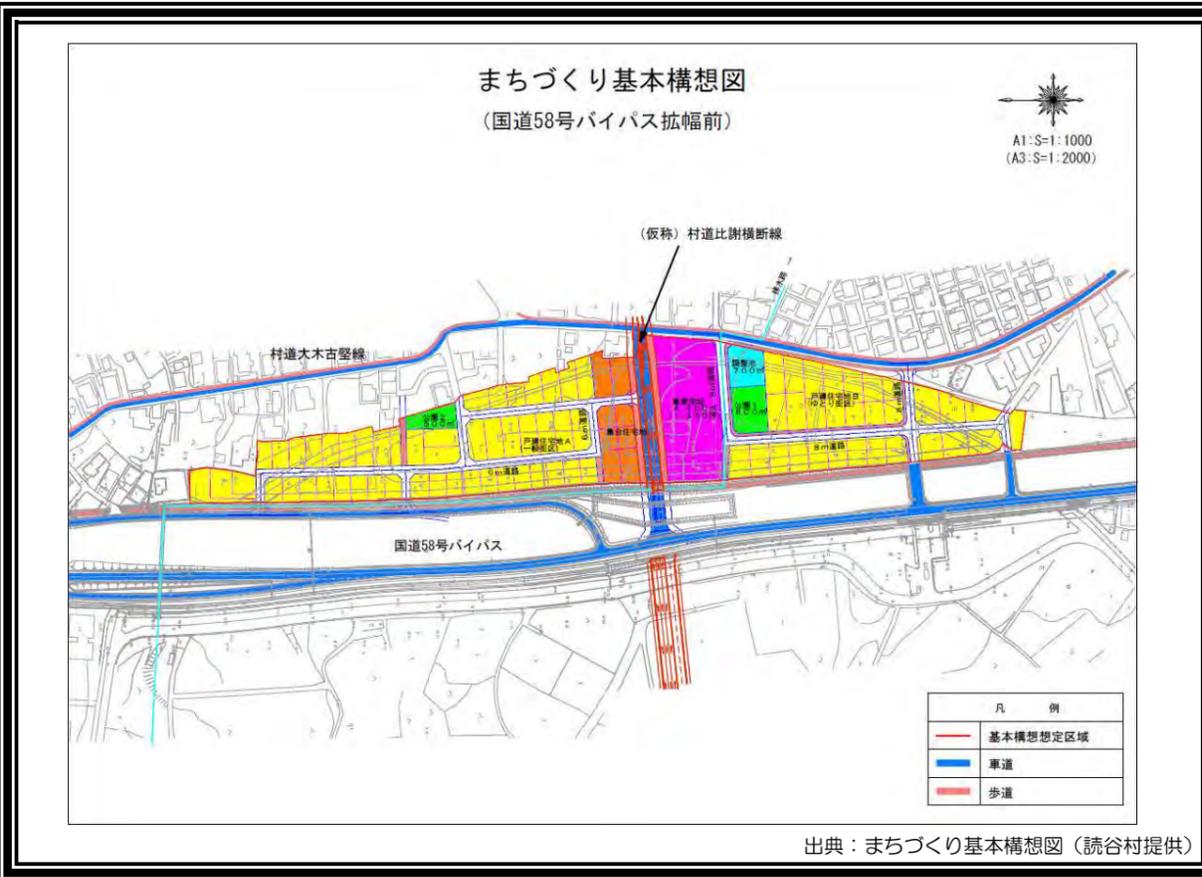


トリー通信施設（大木南地区）

返還跡地



跡地利用基本構想図



出典：まちづくり基本構想図（読谷村提供）

■返還跡地の概要等

□ 概 要				
面 積	3.8ha		■内訳	面積は概数
	国有地	0.007ha	0.2%	
	県有地	0ha	0%	
	市町村有地	0.13ha	3.3%	
	民有地	3.7ha	96.5%	
所 在 地	読谷村（字大木、字古堅）			
位置及び土地の形状	位置：沖縄本島中部、トリー通信施設東側に計画されている国道58号バイパス東側土地の形状：ほぼ全域平坦			

□ 沿 革	
昭 20. 8	●軍事占領に継続して使用開始。
昭 47. 5. 15	●「楚辺トリーステーション」、「楚辺戦略通信所」が統合され、「トリー通信施設」として、提供施設・区域となる。
昭 48. 9. 15	●旧「楚辺戦略通信所」のアンテナ地区の大部分の土地（約131.5ha）を返還。返還跡地の一部は、古堅小学校（現古堅南小学校）用地として利用。
昭 51. 7. 8	●第16回日米安全保障協議委員会において、土地（約4.1ha）の移設条件付返還を合意。
昭 52. 5. 14	●第16回日米安全保障協議委員会で移設条件付返還合意された土地（約2.7ha）を返還。
昭 54. 10. 31	●第16回日米安全保障協議委員会で移設条件付返還合意された土地（約1.4ha）を返還。
昭 59. 3	●陸軍第1特殊作戦部隊（グリーンベレー）再配備。同年9月再配備完了。
昭 61. 9	●陸軍第10地域支援群司令部が「牧港補給地区」から移転。
昭 63. 5	●衛星通信施設を建設。
平 4. 10. 15	●「トリー通信施設」駐留の基地運用中隊が、第349信号中隊に名称変更。
平 8. 12. 2	●SAC0最終報告で、「瀬名波通信施設」のアンテナ施設及び関連支援施設が「トリー通信施設」に移設された後に、平成12年度末までを目途に、「瀬名波通信施設」を返還することを合意。
平 18. 10. 2	●「瀬名波通信施設」の土地（約2,600㎡）を統合。（SAC0関連で「瀬名波通信施設」の返還に関する措置）
平 19. 7. 12	●日米合同委員会で土地（約3.8ha）の返還が承認。
平 27. 9. 30	●読谷道路整備に伴い、一部飛び地となっていた土地（約3.8ha）を返還。
令元. 5. 31	●沖縄防衛局による支障除去が完了し、地権者へ引き渡し。

■跡地利用に係る取組状況等

□ 跡地利用方針・計画	
●平成28年度から跡地利用基本構想を策定し、整備手法を土地区画整理事業に決定。（地権者から仮同意取得）	
※事業費は国庫補助を活用せず、保留地処分金と公共施設管理者負担金でまかなう予定。	
●平成29年3月から沖縄防衛局が返還後の支障除去措置（磁気探査や汚染土壌の排出）を実施。	
※支障除去は令和元年度に完了。	
●土地の引渡し（令和元年5月31日）後、3年以内に土地区画整理事業の認可を予定。現在、事業認可に向けて調整中。	

□ 事業段階	
跡地利用計画（構想）策定段階	●平成28年度に跡地利用基本構想を策定。